



**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

2006年2月10日  
MR/J05/06

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

## 国連大学、アジア・太平洋地域の環境問題への対応をテーマに 公開フォーラム開催

**内容:** インターリンクエージと能力形成：環境問題へのアジア・太平洋地域における取り組み  
**日時:** 平成18年2月20日(月) 9:30am~12:45pm  
**場所:** UNハウス(国連大学ビル)5階 エリザベス・ローズ会議場  
**主催:** 国連大学高等研究所(UNU-IAS)、国連大学本部(UNU)、環境省

### 背景:

- 2001年より、国連大学インターリンクエージ・イニシアチブでは、数々の国家事例研究と併せ、東南アジア諸国連合(ASEAN)、南アジア共同環境計画(SACEP)、南太平洋地域環境プログラム(SPREP)の協力のもと、各国関係者を交えてインターリンクエージと統合的な能力育成をテーマに地域会合を開催してきた。
- 詳細について、また各種報告書やインターリンクエージハンドブックは、下記ホームページにて閲覧・ダウンロード可能。  
<http://www.geic.or.jp/geic/unu/interlinkage/index.html>

### フォーラム概要:

- 本フォーラムでは、この分野での政策形成に関連する研究の第一人者として国際的に活躍するハビバ・ジテイ博士とセバスチャン・オーバトゥレ博士を招き、基調講演を行う。(両氏の略歴は別添参照)。講演テーマは、持続可能な開発、および次世代のための地球上の自然資源保護という目標を達成するための、「インターリンクエージ」の概念やその応用について。
- ASEAN事務局、SACEP、SPREPの高官も代表として演壇に招き、各地域での各国関係者及び国際的な協力団体、(例：国連大学、国連環境計画(UNEP)、国連開発計画(UNDP)、地球環境ファシリテーター(GEF))と共に、多国間環境条約の効果的な実施に向けてインターリンクエージがどのように活用され、統合的な能力育成を強化するためにどういった取り組みが行われてきているのか、発表予定。
- 本フォーラムの詳細について：<http://www.ias.unu.edu/events/workshops.cfm>  
問い合わせ先：12005@geic.or.jp (事務局)

日英の同時通訳あり。本会議は国連大学ホームページ上でウェブキャスト予定。  
<http://c3.unu.edu/videoportal/> (後日参照も可)

本件取材等お問い合わせ先:

国連大学広報部、担当：谷野(やの) (電話：03-5467-1311; メール：media@unu.edu)



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。

国連大学公開フォーラム：インターリンクージと能力形成 ー  
環境問題へのアジア・太平洋地域の取組み

講演者略歴：

ハビバ・ジティ博士- 現在、世界資源研究所(World Resources Institute)にて現在上級職員、また地球環境ファシリテーターの科学・技術諮問パネルの副議長、又 UNEP による「地球環境の展望(GEO)」の統括執筆責任者を務める。1995 年より「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の数々の報告書においても統括執筆責任者として活躍するほか、「ミレニアム・エコシステム・アセスメント(MA)の運営委員会委員を務める。

セバスチャン・オーバトゥレ博士- ヨーロッパ研究所(Institute of European Studies)学事部長。国連気候変動枠組み条約への京都議定書コンプライアンス委員会のメンバーを務める他、ドイツ連邦環境原子炉安全省の特別顧問、環境法国際協議会(International Council of Environmental Law)の選任メンバーであり代表である。又、地球環境変化の人間社会側面に関する国際研究計画(IHDP)の地球環境変動の制度的側面(IDGEC)プロジェクトにおける科学運営委員会のメンバーを兼任する。最新の著書に(トーマス・ゲリングとの共著)「Institutional Interaction in Global Environmental Governance: Synergy and Conflict among International and EU Policies」MIT Press 2006年発行、がある。

プログラム

09:30 - 09:45 開会挨拶  
国連大学高等研究所 所長 A.H. ザクリ  
環境省

09:45 - 11:00 地域レベルにおけるガバナンスへの機会

インターリンクージとガバナンス  
国連大学高等研究所 シニアプログラムオフィサー  
W. ブラドニー・チェインバース

基調講演：世界資源研究所 上級職員 ハビバ・ジティ博士

基調講演：ヨーロッパ研究所 学事部長 セバスチャン・オーバトゥレ博士

11:00 - 11:15 休憩

11:15 - 12:30 インターリンクージと能力形成：東南アジア、南アジア、太平洋地域における地球環境問題

進行：国連環境計画 ジェリー・ベラスケス

パネリスト：

東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局 ラマン・レチュマナン  
南アジア共同環境計画(SACEP) A. A. ボアズ  
南太平洋地域環境計画(SPREP) フランク・ウィッカム  
国連開発計画(UNDP) 安田由美子

12:30 - 12:45 討議・閉会